



パレット (油彩画用)

ぱれっと (ゆさいがよう)

油彩画用パレットの基本形状



オーヴァル型



フランゼン型



オブロング型

概要

油彩画用のパレットは、油絵具を使用した制作において、様々な色彩の絵具を並べ、混色や練りの調整などを行う際の土台となる用具です。

パレットは、描画材の性質により、形態や材質が異なります。油絵具用のものは、平滑な面を持った板状のものが一般的です。形状は、楕円形のオーヴァル型、雲形のフランゼン型、角形のオブロング型、角形の二つ折型（使用時は、裏表に注意しましょう）などがあります。材質は、桜、桂、マホガニーなどの硬質な木材が主に用いられています。しかし、現在はこれらの木材を表面にのみ使った合板製のものが普及しています。その他として、白く塗装された金属製のものや、ガラス製、大理石のものなどがあります。さらに、ペーパーパレットと呼ばれる紙製のものは、表面コーティングされた数十枚の紙が冊子状になっていて、使い終わる毎に1枚ずつ捨てるため掃除の手間が省けます。ただ、耐久性がなく、残った絵具も捨ててしまうため効率的ではありません。

一般的な使用方法として、パレット上に絵具を並べる場所は、パレットの上部や左端などの縁に沿って配置し、中央部分は混色をする部分として空けておきます。絵具を出す際は、必要とする色の絵具だけを出すのではなく、様々な色相の絵具を並べましょう。また、各色を並べる順番については、色相環を参考に並べるのが一般的ですが、制作のスタイルによって明度や透明度などを意識した順番で並べてもよいでしょう。白色については、よく使用する色なので、他の色とは別に、持ち手の近くなどに置くと扱いやすくなります。

絵具の量については、必要とする量より、常に多めに出すように心がけましょう。特に初心者の方は、パレットに出ている量が少ないと、消極的な描画の原因になってしまいます。

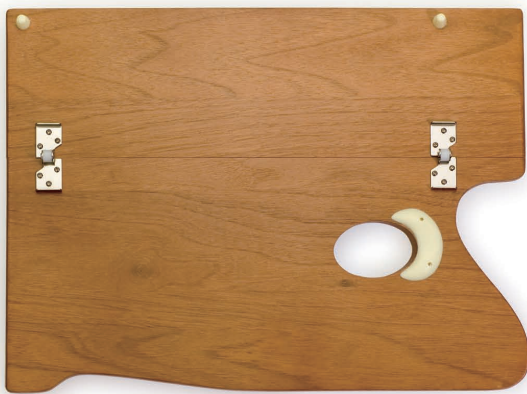
取り扱いの注意として、パレットの使用後は、次に使用した時の不要な混色を避けるため、絵具をパレットナイフなどですくい取ったり、布などでしっかり拭くなどして綺麗にしましょう。さらにその後、布などで乾性油をパレット表面に馴染ませておくことで、次の清掃などが容易になります。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字

絵具が固化し剥がれない場合は、テレピンなどの揮発性油やストリッパーを用いて溶解して取り除きます。
油彩画用パレットは、一般的な画材店で購入できます。

その他の油彩画用パレット



オブロング型（折りたたみ式）



金属製



紙製



パレットの持ち方

親指で支える

腕にのせ、水平に支える

折りたたみパレットの表と裏



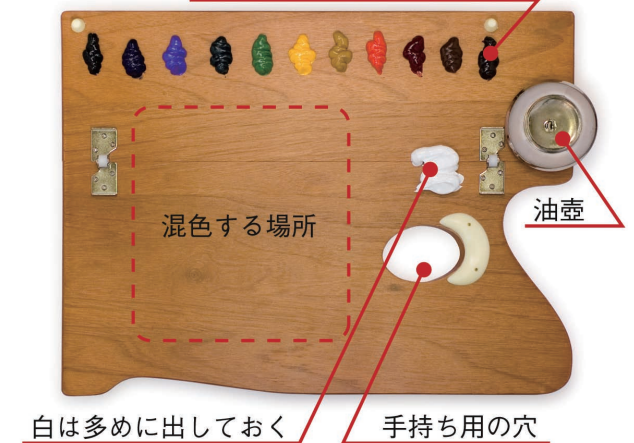
表面



裏面

油絵具の配置例

色相環の色順を参考に配置



混色する場所

油壺

白は多めに出しておく

手持ち用の穴